

第 75 回 発電用設備規格委員会 火力専門委員会 構造分科会 議事録

1. 日 時:2013 年 2 月 7 日(木)13 時 30 分～17 時 10 分
2. 場 所:日本機械学会 第 2 会議室
3. 出席者:飯田(東電)、西田(三菱重工)、堀(パナソニック日立)、小高(富士電機)
代理者:位田[谷川(川崎重工)]、齊藤[長谷川(中電)]
欠席者:西野(配管技術研究協会)、島田(東芝)、堤田(日立)、齋藤(IHI)
オブザーバ:根岸(関電)
事務局:海野(記)

4. 配布資料

- 75-1 . 第 74 回構造分科会議事録(案)
- 75-2 . 構造分科会委員名簿
- 75-3 . 第 62 回火力専門委員会議事録(案)
- 75-4 . 第 63 回規格委員会議事録(案)
- 75-5 . SI 換算ルール火力専門委員会書面投票結果報告他
- 75-6 . ファイル共有システムローカルルール(案)
- 75-7 . 審議レビュー票

5. 議題

(1) 前回議事録確認

[資料 75-1]

前回議事録(案)について確認を行なった結果、意見等は特になく、議事録案は承認された。

(2) 分科会委員・役員の承認

[資料 75-2]

新任候補として根岸氏が推薦され、出席委員全員の賛成により次回火力専門委員会への推薦が承認された。また、北村委員の退任が報告された。再任委員は対象なしであることが報告された。

(3) 報告事項

(3-1) 火力専門委員会報告

[資料 75-3]

第 62 回火力専門委員会の審議内容のうち、火力に関連する内容が報告された。特記事項は以下の通り。

- ・ 火力専門委員会委員・役員の推薦承認
- ・ 各分科会委員・役員の承認
- ・ 第 74 回構造分科会報告
- ・ 発電用火力設備規格 2012 年版の出版承認の報告
- ・ 発電用設備規格委員会運営規約・審議要領の改訂について
- ・ ファイル共有システムローカルルール作成について
- ・ ASME 規格値を規格に取り入れる場合の取扱いに関する内規の書面投票開始が承認されたことを報告

- ・ 2013年日本電気技術規格委員会の表彰候補者として火力専門委員会の木村委員を推薦することが承認されたことを報告

(3-2)規格委員会報告

[資料 75-4]

第 63 回規格委員会の審議内容のうち、火力に関連する内容が報告された。特記事項は以下の通り。

- ・ 火力専門委員会委員・役員の承認
- ・ 火力専門委員会報告
- ・ 火力専門委員会関連の審議事項は無し

(3-3)SI換算ルール火力専門委員会他書面投票結果報告

[資料 75-5]

標題の件、火力専門委員会および原子力専門委員会での書面投票結果を報告した。両委員会とも可決しており、今後発電用設備規格委員会での書面投票を行う予定。

◎ 火力専門委員会書面投票結果

書面投票番号:No. 60

投票議案名:日本機械学会発電用設備規格 ASME規格値を規格に取り入れる場合の取扱いに関する内規

書面投票期間:2012年11月26日～2012年12月26日

投票結果:可決

投票成立:委員総数の5分の4以上(20 票)の 22 票の投票があり, 投票成立

投票採決:投票数の3分の2以上(15 票)の 22 票の賛成票があり, 意見付反対票がなかったため, 投票議案は可決された。

<投票内訳>

委員 24 名中	賛成 22 名
	反対 0 名
	保留 0 名
	不投票 2 名

◎ 原子力専門委員会書面投票結果

書面投票番号:No. 299

投票議案名:日本機械学会発電用設備規格 ASME規格値を規格に取り入れる場合の取扱いに関する内規の提案の承認

書面投票期間:2012年12月5日～2013年1月7日

投票結果:可決

投票成立:委員総数の5分の4以上(19 票)の 22 票の投票があり, 投票成立

投票採決:投票数の3分の2以上(15 票)の 22 票の賛成票があり, 意見付反対票がなかったため, 投票議案は可決された。

<投票内訳>

委員 24 名中	賛成 22 名
	反対 0 名
	保留 0 名

不投票 1 名

(4) 審議事項

(4-1) ファイル共有システムローカルルールについて

[資料 75-6]

昨年 10 月より運用開始しているファイル共有システムについて火力専門委員会および所属分科会内での共通ローカルルール案が提案され、審議の結果このルール案に沿って運用を行なうことが承認された。なお、本ルールは他の分科会および火力専門委員会でも審議の予定。

分科会等の審議に使用するレビュー票・規格原稿案は、「会議資料」フォルダーにアップロードし、それらを修正したレビュー票・規格原稿案の最新版は、「規格原稿案・レビュー票案」フォルダーにアップロードすることとした。

(4-2) レビュー票審議

[資料 75-7]

(4-2-1) 前回レビュー票審議のフォロー

◎Ⅲ章

- ・ 序文 基本規定側で適用範囲を記載する案を次回提案予定
- ・ PG-2.1 基本規定側で適用範囲を記載する案を次回提案予定
- ・ PG-5.6 同材料の番号変更であることを確認
- ・ PW-52.1 についてⅥ章を再確認
- ・ PW-53.1 修正済
- ・ PW-53.8.2 火技他と同等であり影響なし
- ・ PHRSG-3.1 表現修正済
- ・ PHRSG-3.4 ボイラドレン系統の記載も参考にして文案検討

(4-2-2) 今回レビュー票審議

担当委員の作成した以下のレビュー票案について審議した。なお、ASME 規格値については、JSME 内規(案)に従い作業を進めておくこととした(規格委員会投票可決後に確定)。

◎Ⅲ章

- ・ PG-6～26(堀委員)
 - ・ PG-9.1 追加材料を材料分科会に確認
 - ・ PG-9.1.2, 9.2 削除材料を材料分科会に確認
 - ・ PG-12.1 脚注位置は従来通りの表記にする
- ・ PG-42～55(谷川委員:位田氏代理)
 - ・ PG-55.2「検査」か「試験」かは溶接分科会と調整して統一(本規格内 NDE 関係の表記箇所は全て同様)
- ・ APPENDIX IV(飯田主査)
 - ・ A-IV 適用範囲内であり取入れる
- ・ APPENDIX A-360～383(長谷川委員:齊藤氏代理)
 - ・ A-360 は参照規格の表であり取入れる。規格名称は日本語訳をつける(英字タイトルをつけるかは検討)
 - ・ A-381, 382 は煙管ボイラの計算例であり取入れない

- ・ A-383 は炉壁管の計算例であり(煙管ボイラの記述を削除して)取入れる

◎IV章

- ・ UG-34～39(小高委員)
 - ・ UG-37(h)「検査」か「試験」かは溶接分科会と調整して統一,「deg」を「度」に修正
- ・ UG-75～80(小高委員)
 - ・ 特記なし
- ・ APPENDIX 32(飯田主査)
 - ・ A-32 適用範囲内であり取り入れる

◎V章

- ・ 審議なし

(4-3) 次回改訂までのスケジュールイメージ

- ・ 次回改訂までのスケジュールイメージについて, 主査より説明。
- ・ JSME規格は4年毎の改訂が基本となったことから, 次回改訂は 2016 年の予定。
- ・ 2016 年版とするためには, 規格委員会の承認が 2016 年に必要。
- ・ 規格委員会での審議, 書面投票, 質問対応を考えると, 規格委員会への提案は 2016 年 3 月までに行うことが望ましく, 専門委員会の審議, 投票を考慮すると 2015 年 8 月に原稿ができていることが必要。二次投票, 再投票も考慮して余裕を 6 か月程度含めると, 2015 年 2 月には形にしたい。
- ・ あと 2 年ということになるが, 分科会回数でいうと 8 回程度である。
- ・ よって分科会審議は効率良く, 精力的に実施していく必要がある。

6. 次回開催予定

日 時: 2013 年 5 月 10 日(金) 13 時 30 分～17 時 00 分

場 所: 日本機械学会 第2会議室

以 上